

令和8年2月定例会

南海トラフ対策特別委員会会議録

令和8年3月17日

場 所 第4委員会室

令和8年3月17日(火曜日)

午前9時55分開会

会議に付した案件

○協議事項

1. 委員会報告書について
 2. 委員長報告(案)について
 3. その他
-

出席委員(10人)

委員長	福田新一
副委員長	松本哲也
委員	中野一則
委員	日高博之
委員	川添博
委員	荒神稔
委員	山口俊樹
委員	下沖篤史
委員	工藤隆久
委員	脇谷のりこ

欠席委員(なし)

委員外委員(なし)

事務局職員出席者

政策調査課主査	吉浦亜季子
政策調査課主任主事	原田智史

○福田委員長 それでは、ただいまから南海トラフ対策特別委員会を開会いたします。

本日の委員会に2名の傍聴の申し出がありましたので、これを認めることといたしました。

傍聴をされる皆様をお願いいたします。

傍聴人は、受付の際にお渡ししました「傍聴人の守るべき事項」にありますとおり、声を出

したり、拍手をしたりすることはできません。当委員会の審査を円滑に進めるため、静かに傍聴して下さい。

また、傍聴に関する指示には、速やかに従っていただくようお願いいたします。

次に、本日の委員会の日程についてですが、お手元に配付の日程(案)をご覧ください。

本日は委員協議のみとなっております、委員会報告書と委員長報告(案)についてご協議いただきます。

このように取り進めてよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○福田委員長 それでは、そのように決定させていただきます。

早速、委員協議に移りたいと存じます。まずは、協議事項(1)の委員会報告書についてです。

前回の委員会におきまして、正副委員長において報告書を作成し、委員には個別に確認をさせていただくことで御了承いただいていたところですが、委員の皆様から特段の御意見もありませんでしたので、このたび、報告書(案)のとおり作成させていただきました。

この報告書につきましては、定例会最終日の3月19日、木曜日の本会議の際、机上に配付させていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○福田委員長 それでは、議員及び執行部の机上に配付させていただきます。なお、配付するのは、2つの特別委員会の報告書を1冊にまとめた冊子となりますので、念のためにお伝えしておきます。

次に、定例会最終日の本会議で報告いたします委員長報告(案)についてであります。お手

元にあります「委員長報告（案）」をご覧ください。

委員会報告書を要約する形で作成したのようになりますが、御意見等がございましたら、お願いいたします。

ここで、暫時休憩いたします。

午前9時58分休憩

午前10時01分再開

○福田委員長 委員会を再開いたします。

委員の皆様から御意見はございませんでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○福田委員長 それでは、意見もないようですので、案のとおり報告したいと存じますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○福田委員長 それでは、そのように決定いたします。最後になりますが、協議事項（3）の「その他」で、委員の皆様から何かございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○福田委員長 それでは、ないようですので、これで当委員会の全ての議事を終了したいと思います。閉会にあたりまして、正副委員長から、一言御挨拶を申し上げます。まず、松本副委員長からお願いいたします。

○松本副委員長 1年間、特別委員会の副委員長を務めさせていただきました。委員長の素晴らしい運営によりまして、委員会では特段何もすることなく、副委員長を務めさせていただきましたことができました。

委員長報告にありましたように、2年間、防災減災・県土強靱化対策特別委員会があった中で今回の南海トラフに特化した委員会でした

ので、皆さん方からたくさんの意見をいただきながら現地も歩き、調査ができたこと、本当に私もいい経験をさせていただきました。

今後もこの報告書に沿いながら、執行部の取り組みなどをしっかり監視しながら、頑張ってまいりたいと思います。本当に1年間お世話になりました。

○福田委員長 本当に1年間ご苦労様でした。先週、東日本大震災から15年ということで、世の中にあそこまでのことがあるのかというような災害の映像が出てきます。

また、熊本地震も約10年、そして能登半島地震も約2年経ちました。私たちはこの1年間、色々な場所を回りましたけれども、いざ地震が起きたらとっさに確実な動きができるかという、私自身まだ自信がないです。やっぱり訓練しかないのかなと思います。

やはり地震ほどとっさの場合にどうしていいか分からない。心にしっかりワン、ツー、スリーと動きを決めておかないと、自分も被害に遭ってしまうんじゃないかなという内容でありました。今回、調査で各地を回ったわけですが、特に高知県黒潮町は非常に影響を受けることが多かったです。

また、皆さんにおいては、迷惑をかけたこともいっぱいありましたが、本当に1年間ありがとうございました。

それでは、以上をもちまして南海トラフ対策特別委員会を終了いたします。委員の皆様におかれましては1年間大変お疲れ様でした。

午前10時03分閉会

署 名

南海トラフ対策特別委員会委員長 福 田 新 一